



総合学科通信 <第6号>



発行 総合学科推進部 令和3年12月24日

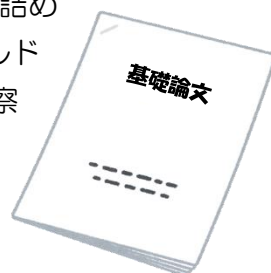


2021年もまもなく終わる。毎日感染者数がニュースで流れるのも日常化した。先月終わりには新たな“オミクロン”なるものが出現。日本に入ってくるのも早かった。株価も急落した。改めて世界は繋がっていると感じた。日々の生活の中で“グローバル”な感覚はないが、色々な事柄が自分では思いも寄らないところで繋がっていることは多々あり、“知ること”の大切さを生徒たちにも伝えたいと思う。1日1日の積み重ねが“その次”へと繋がることを信じて、目の前のことに誠実に取り組むことが大切なのだ。2022年も明るく迎えよう！



☆基礎論文完成～！！☆

4月のテーマ設定から始まった研究活動もいよいよ大詰めを迎え、調べた内容や実験・インタビューなどのフィールドワークで得られた情報を整理しました。さらに分析・考察をして、テーマに対して結論づけていきました。ここまでの道のりの中で、テーマを見失ってしまい迷走をした人もいたでしょう。また、基礎論文を執筆し始めると、それまで得た情報や行動を言語化して、他人に分かりやすく伝えることに、大変苦労した人もいたと思います。しかし、最後まで諦めず、



悩みながら、時にはゼミの先生と相談をしながら、基礎論文の清書までやり抜き、完成にこぎつけることができました。

本当にお疲れさまでした！！

いよいよ年明けには、ポスターセッションを行います。ポスターセッションとは、基礎論文の内容を元に、A3の用紙にポスターを描き、“7分”という時間で自分の研究成果を発表するというものです。ポスターセッションも、いかに相手に自分の思いを伝えられるかが重要です。また発表規模も「ゼミ内」→「ゼミ横断」→「総合学科発表会」と次第に大きくなっていきます。回を重ねるごとに、修正や追加すべきところが見えてくると思いますので、より良いものにしていきましょう。期待しています！！

最後に…

1年次生の皆さん、来年度は君たちの番ですね。
先輩の姿をしっかりと見て、来年の参考にしてください。





ゼミ活動もいよいよ大詰めを迎え、まとめや発表の段階に入りました。それぞれの進路に応じてこれまでの探究を深化させる活動も残すところ後1回。これまでも伝えてきましたが、週1時間という短時間で行ったK-Advanceでの活動は一つのきっかけに過ぎません。ここで得た知識や技能をこれからどう深め、どう生かしていくかが大切です。これまでのK-シリーズも含め、甲北で得た力を生かすも殺すもあなた次第！頑張りましょう。



外務省講演会ではベラルーシの日本国大使館に勤務されている友繁弥寿志様のお話を伺いました。皆さんにはなじみの薄い国でしたが、我が国との共通点もありました。歴史も文化の異なる国の方々と交流する際の秘訣などを伝授いただき、国際感覚が養われたことでしょう。我が国の歴史や伝統をベースに、グローバル化の進む世界で皆さんはどう振舞うべきか考えていきましょう。



K-Basicの授業も1学期の2分間スピーチから、2学期はレベルアップして「ビブリオバトル」に取り組みました。朝の読書タイムで本を読むに馴染んでいる人も、いざ人に本を紹介するとしたら、1冊を選ぶのにもきっと迷った人もいることでしょう。

また、スピーチにしても本の内容全て話してしまったらそれは本を読む楽しみもなくなってしまうし、一方で本のカバーの話や、タイトルだけだったら、あまりにも内容が分からなくて拍子抜けしてしまうし、5分間という時間をどう充実させるか。みんな試行錯誤しながら、頑張っていました。2人組の練習から始まり、5・6人のグループでの発表、20人の前で発表、そして全体発表とどれも貴重な時間だったのではないのでしょうか。今回は質疑応答も、毎回練習を重ねていきました。質問するのも上手になっていったと思います。全体発表会は代表に選ばれただけあり、どれも読んでみたい本に感じました。1位は1年5組のN. M君（『人間失格』太宰治著）が選ばれました。M君は明石で開催される1月30日のビブリオバトル高校生大会に出場します。

11月、12月は「ライフプランスピーチ」に取り組みました。詳しくは次号でお話したいと思います。



総合学科発表会・実行委員会始動！

1年次から14名、2年次からは22名の生徒が実行委員会に加わってくれました。総合学科ならではの学びや、特色ある授業の成果発表、2年次のポスターセッション等盛り沢山です。互いの学びを共有して、実り多い発表会にしましょう。来年2月3日（木）開催です！